

機械器具 12 理学診療用器具
一般医療機器 止血用押圧器具 JMDN コード: 70617000
販売名 **スタンチベルトプラス**

再使用禁止

【禁忌・禁止】

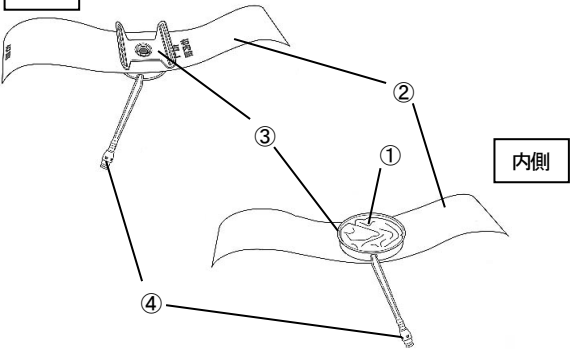
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品は次の構成部品により構成されます。

記 号	部位名称	材 質
①	バルーン・チューブ	ウレタン樹脂
②	不織布ベルト	ポリエステル/レーヨン
③	バルーンケース・バックル	ポリエチレン
④	プラグ	ポリアセタール

外側



内側

品 名	品 番	全 長(mm)
右内股用ロング（右L）	SB-1001	1,950
右内股用ショート（右S）	SB-1002	1,750
左内股用ロング（左L）	SB-1003	1,950

【使用目的又は効果】

血管造影検査や IVR 等の後に大腿動脈穿刺部位からカテーテルを抜去した際の圧迫止血に使用します。患者の状態（血圧、止血能力、下肢の太さ、使用カテーテルの太さ等）によって自由に圧迫力の調整ができます。

【使用方法等】

1. 本品の使用に際し、専用の加圧器を用意してください。
2. 一次止血を行った後、穿刺部にガーゼを当ててサージカルテープ等で軽く止めてください（下図①）。
3. 下図②～③のとおりガーゼの上にバルーン部を当て、不織布ベルトをシワのないように巻き付けて固定してください。



図① ガーゼを当てる



図② 不織布ベルトを巻く



図③ バックルに通す



図④ テープで不織布ベルトを固定する

4. 加圧器を接続して必要な圧力まで加圧した後、加圧器を取り外してください（原則として収縮期血圧であるが、患者の状態（血圧、止血能力、下肢の太さ、使用カテーテルの太さ等）に応じて圧力を調整する）。
5. 加圧開始から数時間後に患者の状態（血圧、止血能力、下肢の太さ、使用カテーテルの太さ等）に応じて減圧し、圧迫完了後、足背動脈、患者の訴えを確認してから取り外し、廃棄してください。

＜加圧器の接続方法＞

加圧器（ソケット）側とバルーン（プラグ）側を合わせて差し込むと、スプリング構造にて接続されます。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・バルーンの圧迫接触面におけるどの位置でもほぼ同じ圧迫力を得られるが、できる限りバルーンの中央部を穿刺部に当てること。使用時に不織布ベルトのズレや緩みが生じないように注意すること。[圧迫圧が下がり、不織布ベルトの張りが元に戻るとともに圧迫力が減少し、加圧前の状態に戻る。]
- * ズレや緩みが発生する場合には、適当なサージカルテープ等で不織布ベルトを固定し、適切に加圧し直すこと。
- ・使用中は、プラグには触れないこと。
- ・品質確認のため出荷時に少し加圧しています。使用前の確認でバルーンが収縮している場合は使用を避けること。
- ・チューブをむやみに引っ張らないこと。
- * ・使用中はバックル外側中央部の確認窓から指を入れ、バルーンの加圧が保持されていることを確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管してください。
化学薬品保管場所、その他ガスの発生する場所を避けて保管してください。

＜有効期間・使用の期限＞

包装に品質有効期限が記載されています。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社リブドゥコーポレーション
愛媛県新居浜市観音原町乙 118-1
TEL: 0897-47-5611